

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 案件名	自動車整備人財育成プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベトナムではモータリゼーションの進展が著しく、現地では車の登録台数が増加、2030 年には 1,000 万台に近い水準で到達が予測されている。これに伴い、自動車整備士需要も 2030 年には 4.4 万人と増加することが想定される。このような中、大統領が 2050 年までのカーボンニュートラルを宣言しているが、今後急速に拡大するハイブリッド自動車や電気自動車の需要が急拡大すると考えられるものの、同時に対応できる自動車整備士が育成されておらず、自動車整備士の人財育成が喫緊の課題となっている。 かかる状況から同国における自動車整備士を養成する主要な機関である国立ハノイ機械電気短期大学（以下、HCEM）自動車整備科から要望があり、ハイブリッド自動車および電気自動車の自動車整備技術を指導できる教員の人財育成を行うこととなった。
4. プロジェクト目標	HCEM において、ハイブリッド自動車（Hybrid Electric Vehicle、以下 HEV）及び電気自動車（Battery Electric Vehicle、以下 BEV）等を整備できる人財が育成される。
5. 対象地域	ハノイ市、ビンフック省
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	直接受益者：HCEM 自動車整備科コースの教員 18 名 間接受益者：HCEM 自動車整備科コースの学生 約 600 名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> - HEV・BEV 等の整備技術を指導できる教員が育成される。 - 自動車整備科において、HEV・BEV 等の整備技術に関するクラスが運営される。 - HEV・BEV 等の整備技術を習得した学生がより良いキャリアを築く。 <活動> 1-1：HCEM における教員の指導育成状況を把握し、自動車整備担当教員の知識・技術レベルを確認する。 1-2：自動車整備担当教員向けの HEV・BEV 等技術指導研修計画を策定する。 1-3：指導に必要な資料、教材を整備する。 1-4：担当教員に対し現地研修および本邦研修（必要に応じてリモートを含む）、学生に対する模擬授業を実施する。 1-5：自動車整備担当教員が習得した HEV・BEV 等技術、講義手法を評価し、必要に応じて改善する。 2-1：自動車整備科における HEV・BEV 等の整備技術に関するカリキュラムを検討する。 2-2：同大学の既存カリキュラムに HEV・BEV 項目を追加し、一般化する。 2-3：HEV・BEV 等項目講義（実技）における教員の指導法、内容、学生の理解状況

	をモニタリングし、必要に応じ指導する。 3-1：卒業生の就職状況等を把握する。 3-2：現地関係企業の雇用状況、ニーズを把握する。 3-3：自動車整備関係企業等（日系を含む）との関係を強化し、学生に就活情報等を提供する。
8. 実施期間	2025 年 3 月～2028 年 1 月（2 年 11 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,943 千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	HCEM
Ⅱ．団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	株式会社 AT グループ
2. 主な活動内容	トヨタ車販売会社 4 社をもつ。近年、留学生・技能実習生の自動車整備士受け入れを積極的に行っており、更なる外国人自動車整備士の受け入れに向けて活動している。